

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 19 週（5 月 6 日～5 月 12 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 2 人 血清型 O157 1 人、O26 1 人
四類感染症 レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 カバ ^ハ ペ ^ル 耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 A 群 1 人、G 群 1 人
後天性免疫不全症候群	4 人 病型 AIDS 3 人、その他 1 人
侵襲性インフルエンザ ^ル 菌感染症	2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	5 人 病型 早期顕症Ⅰ期 2 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人
播種性クリプトコックス症	1 人

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

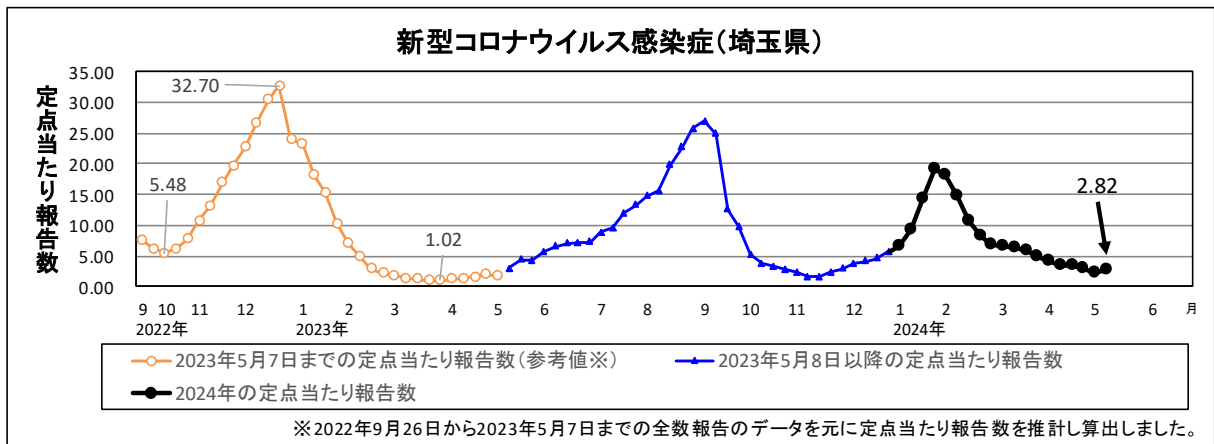
新型コロナウイルス感染症(3.09→2.17→2.82: 図 1)の定点当たり報告数は、長期休暇前と同水準であった。保健所別では、鴻巣(4.05)、狭山(4.04)、草加(4.00)、幸手(3.93)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は22人(前週19人)であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5.23→3.46→4.01: 図 2-1, 2)の定点当たり報告数は、増減を繰り返しつつも多い状況にある。保健所別では、幸手(9.33)、春日部(9.17)保健所管内からの報告が多い。RSウイルス感染症(2.17→1.42→1.20: 図 3-1, 2)の定点当たり報告数は、長期休暇前と比較して減少したものの、例年同時期と比較して多い状況にある。保健所別では、南部(3.80)、幸手(2.89)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下の報告が全体の約67%であった。手足口病(0.15→0.24→0.32: 図 4)の定点当たり報告数は、緩やかな増加傾向にある。保健所別では、熊谷(1.63)、本庄(1.50)保健所管内からの報告が多い。水痘(0.29→0.14→0.52)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、幸手(3.67)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎5人、流行性角結膜炎37人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎3人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第19週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

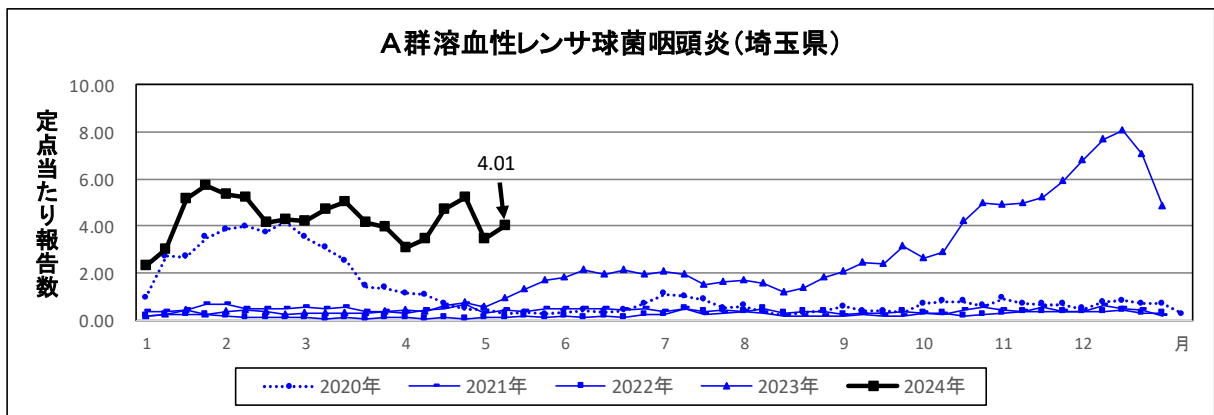


図2-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移（2024年第17週～第19週）

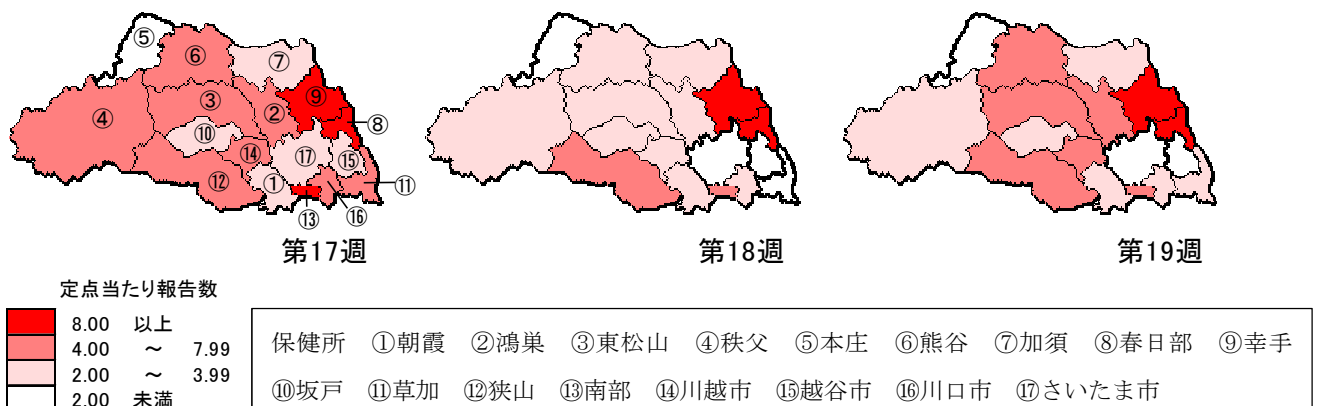


図 3-1 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

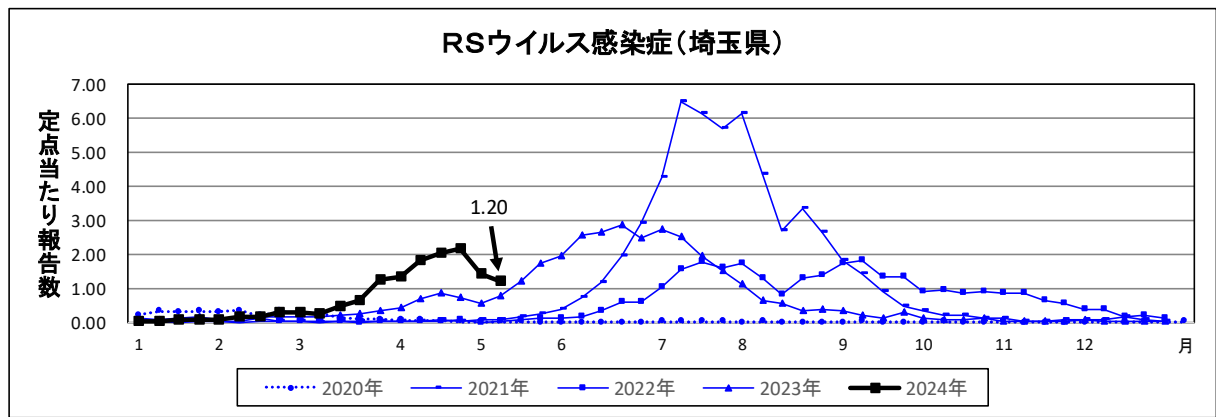


図 3-2 RS ウイルス感染症の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 17 週～第 19 週)

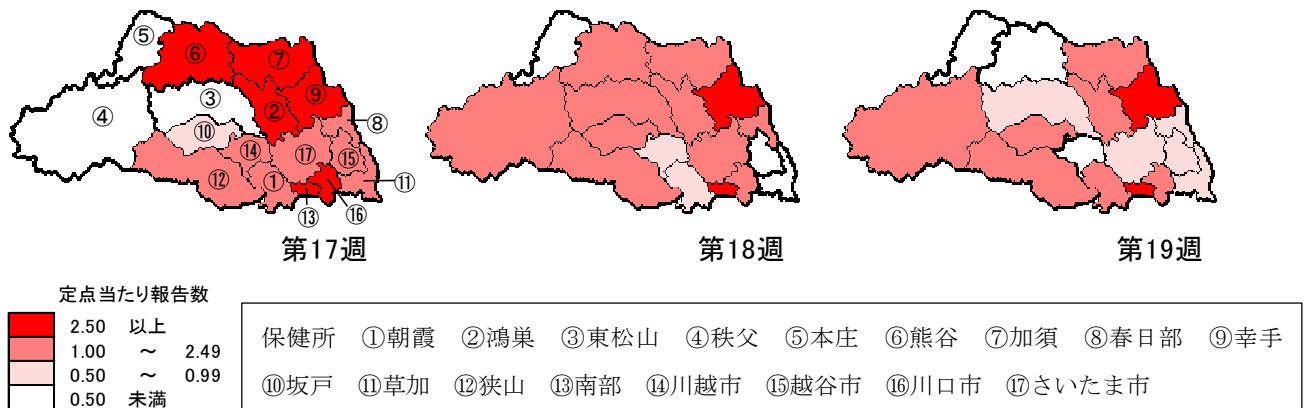
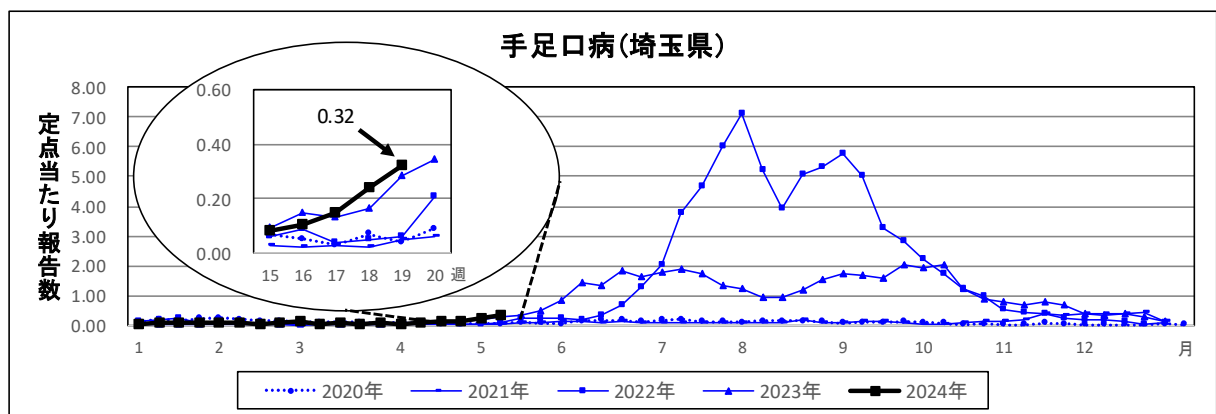


図 4 手足口病の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第19週)

(2024年5月14日 16:45集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	40			
四類感染症					
E型肝炎		15	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニバウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	31
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		11	侵襲性肺炎球菌感染症	3	39
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	27	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	5	149
急性脳炎		10	播種性クリプトコックス症	1	5
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	56	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	4	11	百日咳		15
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	7	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第19週

5月6日~5月12日)

保 健 所	報告数 #1	インフル エンザ	新型 コロナ ウイル ス感 染症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 #2	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 #3	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ ィ ル ス)	イ ン フ ル エ ン ザ (入 院)	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症 (入 院)
全 県	報告数 60	735	197	85	658	710	86	53	4	42	2	16	5	37	-	-	3	-	-	-	-	22
	定点当たり	0.23	2.82	1.20	0.52	4.01	4.33	0.52	0.32	0.02	0.26	0.01	0.10	0.12	0.90	-	-	0.25	-	-	-	1.83
朝 霞	報告数	8	76	15	3	46	81	8	6	1	5	2	2	-	4	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	0.35	3.30	1.00	0.20	3.07	5.40	0.53	0.40	0.07	0.33	0.13	0.13	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	1.00
鴻 巣	報告数	4	77	18	11	66	55	-	3	-	1	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.21	4.05	1.50	0.92	5.50	4.58	-	0.25	-	0.08	-	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	2	10	3	4	24	36	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.25	1.25	0.60	0.80	4.80	7.20	-	-	-	0.20	-	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数	-	6	4	1	6	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	1.20	1.33	0.33	2.00	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	10	-	-	7	2	1	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	-	1.43	-	-	1.75	0.50	0.25	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	報告数	7	37	2	4	34	36	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	0.54	2.85	0.25	0.50	4.25	4.50	0.13	1.63	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	報告数	-	13	9	1	13	2	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	1.30	1.50	0.17	2.17	0.33	-	-	-	0.33	-	0.17	-	3.00	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数	1	26	3	4	55	53	-	2	-	5	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.10	2.60	0.50	0.67	9.17	8.83	-	0.33	-	0.83	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	1	55	26	9	84	22	33	1	-	-	-	-	1	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.07	3.93	2.89	1.00	9.33	2.44	3.67	0.11	-	-	-	-	0.50	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	3	28	6	3	16	36	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.30	2.80	1.00	0.50	2.67	6.00	-	0.33	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
草 加	報告数	9	76	9	1	40	39	5	3	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.47	4.00	0.75	0.08	3.33	3.25	0.42	0.25	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	8	101	34	18	83	43	8	1	-	5	-	1	4	5	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.32	4.04	2.13	1.13	5.19	2.69	0.50	0.06	-	0.31	-	0.06	0.80	1.00	-	-	-	-	-	-	3.00
南 部	報告数	1	20	19	3	35	32	6	4	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
	定点当たり	0.13	2.50	3.80	0.60	7.00	6.40	1.20	0.80	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	3.00
川 越 市	報告数	3	28	2	3	38	57	5	-	-	4	-	1	-	6	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.21	2.00	0.25	0.38	4.75	7.13	0.63	-	-	0.50	-	0.13	-	3.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	7	48	4	6	13	25	2	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	5
	定点当たり	0.54	3.69	0.50	0.75	1.63	3.13	0.25	0.13	-	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	5.00
川 口 市	報告数	1	72	20	5	46	75	4	5	2	5	-	6	-	8	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.05	3.60	1.54	0.38	3.54	5.77	0.31	0.38	0.15	0.38	-	0.46	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数	5	52	23	9	52	116	13	6	-	7	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.12	1.21	0.82	0.32	1.86	4.14	0.46	0.21	-	0.25	-	0.04	-	0.78	-	-	-	-	-	-	2.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第19週 5月6日～5月12日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	60	-	2	4	3	1	3	-	1	2	3	-	5	10	4	4	4	5	3	4	2	
新型コロナウイルス感染症	735	6	12	16	10	7	2	3	4	6	4	3	34	61	109	84	104	92	76	58	44	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	197	20	53	59	31	21	6	4	1	-	-	-	1	-	1							
咽頭結膜熱	85	-	6	8	17	17	8	9	4	6	5	-	1	-	4							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	658	2	2	19	32	64	54	73	66	54	68	61	103	11	49							
感染性胃腸炎	710	10	59	53	54	59	78	61	63	45	44	38	97	12	37							
水痘	86	1	1	3	3	1	3	5	20	10	12	10	17	-	-							
手足口病	53	2	2	27	9	3	3	3	1	-	-	-	1	1	1							
伝染性紅斑	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-							
突発性発しん	42	1	8	26	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	16	-	-	-	-	3	1	2	2	4	3	1	-	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	1	-	-		
流行性角結膜炎	37	-	-	-	1	2	-	1	2	1	-	1	2	-	3	8	9	3	1	3		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
新型コロナウイルス感染症(入院)	22	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1	14					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第16週 (4月15日～4月21日)

令和6年5月15日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(6.49)、新潟県(4.82)、山梨県(4.37)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は74例と前週と比較して減少した。都道府県別では38都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(29例)、10代(6例)、20代(2例)、30代(2例)、40代(3例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(6例)、80歳以上(16例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(7.24)、青森県(7.07)、秋田県(6.92)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,487例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(43例)、1～9歳(40例)、10代(20例)、20代(24例)、30代(18例)、40代(31例)、50代(70例)、60代(136例)、70代(394例)、80歳以上(711例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は奈良県(6.09)、大阪府(4.41)、福井県(4.36)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.80)、鹿児島県(2.24)、富山県(2.18)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(9.64)、北海道(7.52)、鳥取県(6.89)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(11.46)、大分県(8.22)、石川県(7.83)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(3.03)、福井県(2.40)、愛媛県(1.76)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.30)、東京都(0.19)、神奈川県(0.12)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(0.64)、愛媛県(0.62)、群馬県(0.25)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.20)、香川県(0.14)、千葉県(0.12)である。

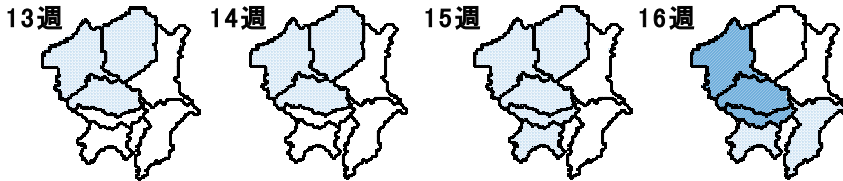
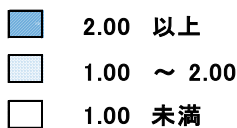
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.29)、福井県(0.83)、香川県(0.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。9都道府県から10例報告があり、年齢別では1～4歳(4例)、5～9歳(5例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第16週(4月15日～4月21日): 通巻第26巻 第16号 より

<関東情報>

RSウイルスの定点当たり報告数は、群馬県(2.21)、東京都(2.05)、埼玉県(2.01)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2024年 16週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	9,105	2,694	338	225	174	446	452	504	555
	定点当たり	1.85	1.77	2.82	2.96	2.07	1.72	2.24	1.21	1.52
新型コロナウイルス感染症	報告数	17,937	5,074	409	287	298	933	805	1,159	1,183
	定点当たり	3.64	3.33	3.41	3.78	3.55	3.60	3.99	2.77	3.23
RSウイルス感染症	報告数	5,498	1,630	58	42	117	326	181	540	366
	定点当たり	1.76	1.70	0.77	0.88	2.21	2.01	1.44	2.05	1.58
咽頭結膜熱	報告数	2,118	373	33	16	57	81	56	68	62
	定点当たり	0.68	0.39	0.44	0.33	1.08	0.50	0.44	0.26	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	12,784	4,010	471	198	205	760	726	932	718
	定点当たり	4.08	4.19	6.28	4.13	3.87	4.69	5.76	3.54	3.11
感染性胃腸炎	報告数	13,123	3,561	237	84	163	719	530	1,183	645
	定点当たり	4.19	3.72	3.16	1.75	3.08	4.44	4.21	4.50	2.79
水痘	報告数	450	148	9	2	7	49	21	34	26
	定点当たり	0.14	0.15	0.12	0.04	0.13	0.30	0.17	0.13	0.11
手足口病	報告数	1,405	182	8	8	78	17	23	22	26
	定点当たり	0.45	0.19	0.11	0.17	1.47	0.10	0.18	0.08	0.11
伝染性紅斑	報告数	153	95	-	1	1	8	7	50	28
	定点当たり	0.05	0.10	-	0.02	0.02	0.05	0.06	0.19	0.12
突発性発しん	報告数	933	270	9	12	15	50	34	90	60
	定点当たり	0.30	0.28	0.12	0.25	0.28	0.31	0.27	0.34	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	187	40	4	1	13	9	3	3	7
	定点当たり	0.06	0.04	0.05	0.02	0.25	0.06	0.02	0.01	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	159	72	8	1	4	13	15	18	13
	定点当たり	0.05	0.08	0.11	0.02	0.08	0.08	0.12	0.07	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	13	7	-	-	-	-	3	2	2
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	-	0.09	0.05	0.04
流行性角結膜炎	報告数	381	169	13	4	4	26	19	32	71
	定点当たり	0.55	0.82	0.81	0.33	0.29	0.62	0.58	0.82	1.42
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	64	7	2	-	-	1	1	2	1
	定点当たり	0.13	0.08	0.15	-	-	0.08	0.11	0.08	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

4月に採取されたインフルエンザ検体は27検体で、検査が終了した22検体から、B型（ビクトリア系統）が17件、AH1pdm09亜型が4件、AH3亜型が1件検出されました。また、麻しんが疑われる検体が28検体採取されましたが、麻しん及び風しんウイルスは検出されませんでした。

細菌検出状況

三類感染症

令和6年4月30日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(4月分)
		2月	3月	4月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	7	4	2	H7(VT2):1, H7(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O26	1	2		
	腸管出血性大腸菌その他	2	4	2	OUT:H2(VT1&2):1, OUT:HUT(VT2):1
腸チフス	チフス菌		1 (1)		

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症

令和6年4月30日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(4月分)
		2月	3月	4月	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1		3		

五類感染症(全数把握)

令和6年4月30日現在

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(4月分)
		2月	3月	4月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1		1	
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		1		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	3	1		
	<i>Serratia marcescens</i>	1			
	その他CRE	1			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)	9	3	7	
	B群レンサ球菌(<i>Streptococcus agalactiae</i>)	1	1	3	
	G群レンサ球菌	3	4		
	その他レンサ球菌		1		
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i>			1	
播種性クリプトコックス症	<i>Cryptococcus</i> 属真菌	1			

感染症発生動向調査
2024年

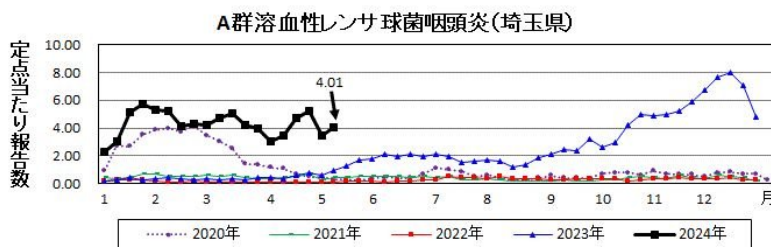
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)

感染症の流行状況 2024年 第19週

2024年第19週（5月6日～5月12日）の要点

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)の定点当たり報告数は、増減を繰り返しつつも多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	流行性角結膜炎	↑	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン